

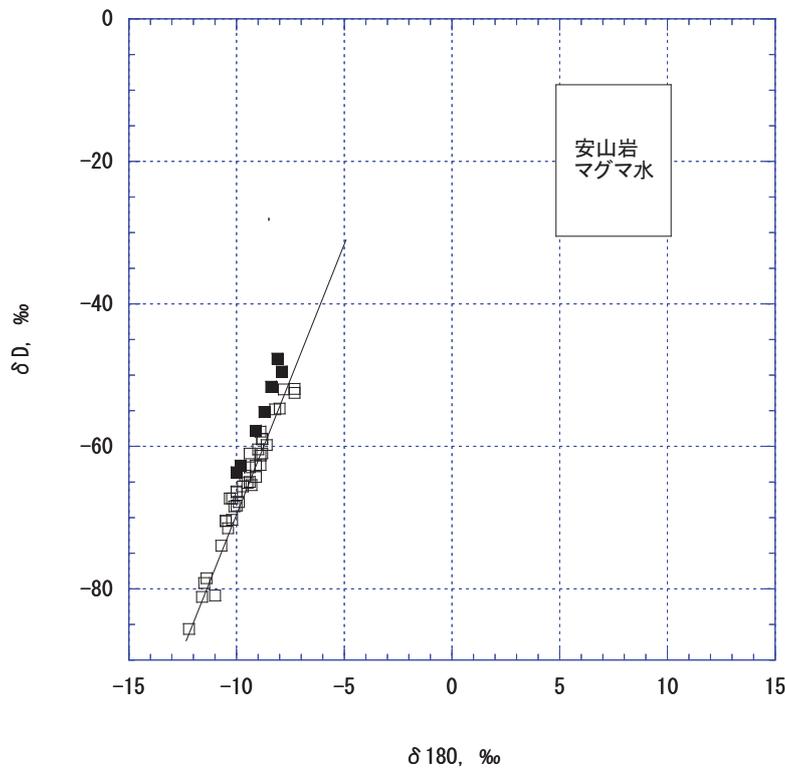
富士山周辺湧水の酸素・水素同位体比*

Stable isotope ratios for groundwater around Mt.Fuji

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2011年4月～11月にかけて富士山東部の御殿場市周辺地域から地下水（湧水、風穴水）を採取し、地下水の酸素・水素同位体比を測定した（■印）。その結果を2001年10月～2002年2月に富士山を中心に半径およそ15km以内の地点から採取した地下水の同位体比の値（□印）と共に図に示す。図中の直線は最小自乗法で得られた近似直線($\delta D=7.5 \delta^{18}O+6.8$)である。マグマ起源の水の混入は見られない。



第1図 富士山周辺湧水の酸素同位体比と水素同位体比の関係

図中の直線は最小自乗法で得られた近似直線である。図右上の四角で囲まれた領域はGiggenbach(1992)により得られた安山岩マグマ水の値である。

Fig1 Relationship between $\delta^{18}O$ and δD for groundwater around Mt.Fuji

The straight line is the best fit for data. The square of andesitic area indicates the isotope ratio ranges from Giggenbach. ■:2011 □:2001-2002

* 2012年4月2日受付

** 吉田 則夫

Norio Yoshida